

## スズキの四輪車、二輪車、船外機が 2017年度グッドデザイン賞を受賞



スズキ株式会社は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催するグッドデザイン賞<sup>※</sup>において、四輪車の「ワゴンR／ワゴンRスティングレー」と「スイフト」、二輪車の「GSX250R」と「V-Strom 250」、船外機の「DF350A」が「2017年度グッドデザイン賞」を受賞した。スズキ船外機の受賞は初となる。

※「グッドデザイン賞」：1957年に通商産業省(当時)によって創立された「グッドデザイン商品選定制度」(通称Gマーク制度)を母体とする、我が国唯一の総合的デザイン評価・推奨制度。

### ● 「ワゴンR／ワゴンRスティングレー」

「ワゴンR」は、広い室内空間と軽ワゴンならではの使い勝手の良さを向上させながら、機能性とデザイン性を両立させた「機能美」を表現し、個性的な3つの外観デザインを採用。



ワゴンR FX



ワゴンR FZ



ワゴンRスティングレー

(審査委員の評価)

「ハイトワゴンという現在の軽自動車の定形を確立した車種の6代目である。エクステリアは実直だった従来型と比べるとトレンドを取り込む方向にシフトしたという印象を受けるものの、パーソナルスペースと実用スペースを分けるための幅広いセンターピラーというメッセージは理解できるし、ドア内部に傘を収納可能とするなど使い勝手向上にも寄与している。水平基調で計器類や操作系を中央に集めたインテリアは日常の道具として親しみやすく操作性も高い。」

### ● 「スイフト」シリーズ(スイフト、スイフトスポーツ、ディザイア)

「スイフト」は、個性的でスポーティーなデザインと、キビキビと走る高い走行性能を特長としたスズキのブランドを牽引する代表的なグローバルコンパクトカー。ディザイアはインドで販売する4ドアセダン。



スイフト



スイフトスポーツ



ディザイア

(審査委員の評価)

「台形基調のフォルムや縦長ヘッドランプなどを継承しながらの進化から、スイフトという小型車を大切に育てていこうという意志が伝わってくる。一方でプラットフォームを共用しながらハッチバックの標準型とスポーツモデル、そして新興国向けのセダンを作り分けており、日本向けの標準型は全幅を5ナンバー枠内に収め、セダンはインテリアを専用とするなど、仕向地の事情に合わせたきめ細かい作り分けを行っている点にも注目した。」

## ● 「GSX250R」

「GSX250R」は、街乗りにおける日常的な扱いやすさを持つスタイリッシュなスタンダードスポーツバイク。

（審査委員の評価）

「GSXシリーズらしいダイナミックでスポーティーなイメージがスタイリングとCMFGによって実現できている。面発光LEDを採用したフロントのポジションランプとリアテールランプは、前後の被視認性を高める安全性への配慮に加え個性となっている。低く細身のシート形状と横方向の張り出しを抑えたボディ造形など多様なライダーへの操作性と快適性の考慮を評価した。共通プラットフォームのGSX250RとVストローム250は全く異なるコンセプトでありながら十分なデザインの差別化が達成できている。」



GSX250R

## ● 「V-Strom 250」

「V-Strom 250」は、ツーリングでの快適性と日常的な扱いやすさを両立したスポーツアドベンチャーツアラー。

（審査委員の評価）

「本モデルの狙いであるアドベンチャーイメージは、スポーツギアを彷彿させる丸形ヘッドランプとタフな印象の大型燃料タンクのデザインによって表現されている。機能面ではアップハンドルと低く細身のシートが街中走行に最適なライディングポジションを提供し、装備面では多機能フルデジタルメーターと12VのDCアウトレットといったツーリング機能の充実が図られるなど、幅広い顧客視点に立ったパッケージは評価に値する。」



V-Strom 250

## ● 「DF350A」

「DF350A」は当社の船外機では最大となる350馬力を実現した船外機。次世代のスズキの船外機を象徴する、フラッグシップモデルに相応しい質感の高いデザインを採用。

（審査委員の評価）

「同社の船外機のフラッグシップにふさわしく、吸気口からプロペラまでを有機的な曲面で包み込み、一体感・上質感のあるフォルムとしている。カラーやロゴも最上級機種にふさわしい落ち着き感を醸し出しており好感が持てる。性能面では船外機では珍しい二重反転プロペラを採用することで安定性を向上。デザイン、エンジニアリングの両面で同社の船外機として大きなジャンプアップが実感できるプロダクトとなっている。」



DF350A